



再生

Young-G

ヒップホップの中には、往年の名曲が、若い人たちによって掘り起こされ、サンプリング（引用）されることで、新しい解釈と共にリバイバルされる曲があります。

東南アジアでもその性質は同じで、例えば、タイでは、タイ独自のリズムやメロディーをヒップホップに取り入れた曲が生まれています。

JUU ft. G.JEE " ឃណកឃដៃ " (Watch the bird) single 2017

現在、国全体の平均年齢25歳の勢いあふれるカンボジアの若い世代は、過去の悲劇を乗り越えた新しいカンボジアを作り出しています。ポルポト政権時代に破壊、虐殺され失われたカンボジア歌謡曲をサンプリングし、新たな解釈で発信している若い世代に人気の音楽レーベル「KlapYaHandz」。創設者であり「カンボジア・ヒップホップの父」ともいえるSok "CREAM" Visal（ヴィサル・ソック）はポルポト政権から逃れ、幼いころにフランスに亡命し、思春期までパリで生活していました。そこでヒップホップに出会い、20代前半にカンボジアに帰国、失われたカンボジアのクメール歌謡の素晴らしさをヒップホップに落とし込み、カンボジアの若い世代に向けてよみがえらせました。

SREYLEAK - កង្កែបស្លាបព្រៃ (Konlang Slap Pich) ft. VITOU [LYRIC VIDEO]

Pen Ran, ប៉ែន រ៉ែន, កង្កែបស្លាបព្រៃ, kan lang slab pich

同時に映画監督でもあり音楽、映画とカンボジアの復興を芸術で彩ってきました。そして2020年現在、KlapYaHandzを支えているのは彼の息子とその仲間たちの世代です。ヴィ

サル自身はクリエイティブディレクターとして関わり、近年では弱冠20～25歳くらいの若者達が、作品作りやリリースを重ねています。彼らはすでに、アメリカやヨーロッパにも引けを取らないクオリティの楽曲や映像を制作し、同じカンボジアの若い世代を勇気づけ、喜ばせています。それと同時に老人も知るようなカンボジアのメロディーも若い世代に向けて取り込んでおり、悲劇で抜け落ちた時代の空白を、音楽や芸術でつないでいます。現在も独裁政権といわれ、政治や経済には多くの問題を抱えていますが、クメール文化に誇りを持つ若者たちのエネルギーは溢れんばかりです。古いものから新しいものを生み出し、破壊から再生し、かつて繁栄したクメール文明から続くメロディーが未だにスマホを持つ若者たちの生活の中で流れている。それがこれからのカンボジアを希望ある未来に導いている気がします。

AGO - ស្កាយស្នេហាភ័ក្ត្រ (Sday Snea Aphorp) [Official MV]

Vuthea វុត្តា - Thinking Bout Chu ft. Jamie Raine & Kenny Chase

関連リンク

- KalapYaHandz HP <https://klapyahandz.com/>